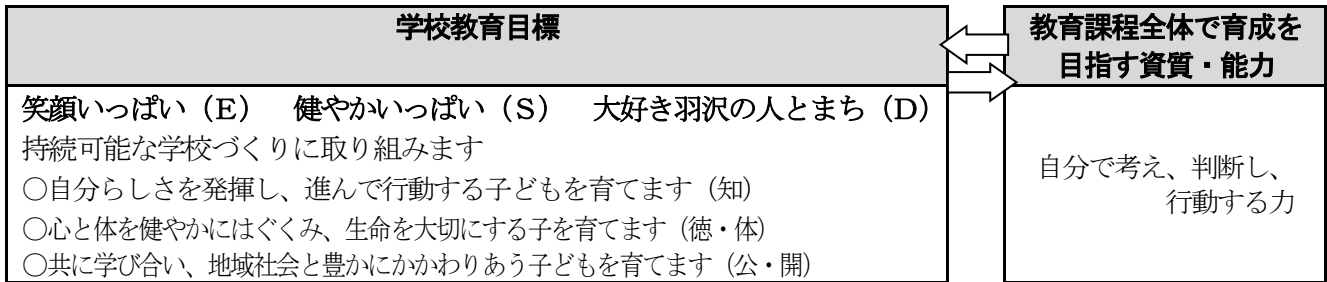


# 横浜市立羽沢小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



### (2) 中期取組目標

中期取組目標
○子どもが様々な場面で、自分のよさを実感として味わえる学習の場を設定し、人とコミュニケーションをとり自ら行動できる子を育てていきます。 ○羽沢のまちを「郷土」ととらえ、羽沢のまちや人やもの・ことをよく理解し、羽沢を愛する子を育てます。 ○子どもの「わかる」「できる」を大切に主体的に学べる授業づくりに取り組みます。 ○自他ともに大切にできる子を育てます。

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	○菅田中ブロックで身に付けさせたい資質・能力を明確にし、各学年で子どもの目指す姿を共有しながら、研究に取り組みます。 ○ユニバーサルデザインやソーシャルディスタンスを基盤とした誰もが、安心して取り組めるような学習環境を整え、誰ひとりとのこさない教育を目指します。
担当	重点研究部

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

### ◎学力の概要と要因の分析 (一昨年度のデータと昨年度のアンケート結果より)

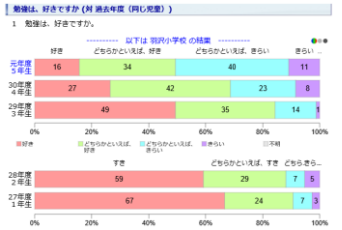
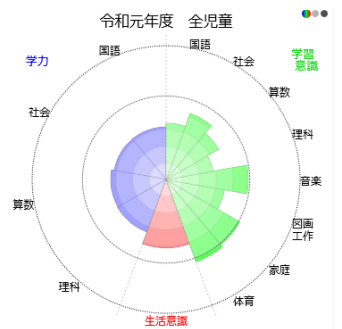
グラフは、一昨年度のものであるが、傾向としては大きく変わらない現状であると考えられる。どの教科においても学力の向上が課題となっており、小中学校ブロック全体も同様である。昨年度実施したアンケート結果からは、学習意欲はあるということが分かり、知識理解・技能習得に結びついていない様子が見えてきた。

体を動かすことを好む児童が多く、図工や体育が好きであると答える児童が多い。学習に必要なことについては感じているものの、学習への苦手意識が見られる。運動習慣はついているが、学習塾を含んだ学習時間や読書時間が短いこと、携帯電話やゲーム時間が多いことも学力へ影響していると思われる。

また、人とのコミュニケーションをとることを好む児童は多いが、他者意識をもって人と関わることは苦手である。そのため、地域、保護者の方々と連携を図り、実際に人と関わり、実物を通して、学習を重ねていくことがとても大切であるとする。

生活面での落ち着きと学習状況の関連が強く、落ち着いた学校生活の維持が必要不可欠である。保護者の協力を得ながら、家庭や学校生活リズムを安定させ、様々な体験を通して「わかる」「できる」と思える経験を重ね、意欲を高めていく必要がある。

学校全体としては、重点研究の充実とチームで学年を運営することを中心に、少人数指導や教科担任制を取り入れながら、多くの職員で子どもを捉えることや、授業の質を向上させながら、基礎学力の定着に向けて取り組んでいく。そして、子どもたちに分かりやすい学習の導入や実体験の伴う学習活動などの工夫しながら、繰り返し学習をできるような場を作っていくようにする。また、基礎学力の定着のためには家庭の協力も不可欠である。これまでの呼びかけの成果が上がっている面もあるが、さらに生活リズムの安定と家庭学習の習慣化等について今後も家庭との連携を図り、生活や学習の改善へつなげていきたい。



### 3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

(活動全般において、感染症防止のガイドラインにそって対策を取りながら実施する)

	育成目指す 具材した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆感じたことを言葉にする力</li> <li>◆事実を大まかに捉える力</li> <li>◆約束やさまりを理解する力</li> <li>◆基本的な生活習慣をつくる態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書活動や毎日の音読練習を通して、年齢に応じた語彙を増やすとともに、学習の中に、人やもの、こととつながる場面を計画的に位置付け、それらとの関わりの中で、自分の思いや考えを伝えたり、表現したりする力を育成していく。</li> <li>○さまざまな場面で、達成感や満足感を得ることができきる機会を多く設定し、学習意欲の向上や学力向上につなげるようにする。</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の体を大切にする気持ち</li> <li>◆身近な事象に積極的にかかわる態度</li> <li>◆家族や友人を愛する気持ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語科では、読書活動の充実を図り、子どもたちの語彙や表現を豊かにするとともに、読解力や思考力を高めていく。</li> <li>○どの教科でも、説明をすること、紹介することの表現する場を大切に、内容を確認したり分からないことを質問したりする活動を通して、思考力や表現力、コミュニケーション力の育成を図る。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝える内容を明確にする力</li> <li>◆目的に合ったものを利用する力</li> <li>◆観察する力・洞察する力</li> <li>◆安全で動く能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語科では、語彙や表現を豊かにするとともに、読解力や思考力を高めていく。</li> <li>○どの教科でも、説明をすること、紹介をすることなど、自分の言葉で表現する場を大切にする。</li> <li>○繰り返しの体験を通して学ぶ場を多く設定し、様々な人と関わり、豊かな感受性と多様な思考を育てる。</li> <li>○観察したり、友達と意見の交流をしたりすることを通して、比べて考えたり、一般化したりする力を育てる。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆様々な情境活用・選択する力</li> <li>◆思いや考えを伝え合う力</li> <li>◆社会生活の中での協調性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎学力の定着とともに、既習事項をどのように活用できるか、学習のつながりを意識した考え方を育てる。</li> <li>○相手に伝わることを意識して、考えを書いたり、話したりする活動を多く取り入れる。</li> <li>○繰り返しの体験を通して学ぶ場を大切に、思考力・表現力の育成を図る。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆振り返りの習慣</li> <li>◆自己の客観的に捉える</li> <li>◆自然や文化に感動する心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動全般にわたって、「言語活動」の結びつきを重視し、「覚えただけ」ではなく、覚えたことを話したり、文章や絵などで表現したりすることで言語活動の充実を図る。また、少しずつ体験的な活動を増やし、確かな学力の向上につなげるようにする。</li> <li>○一部教科分担制を導入し、児童を多面的に捉え、学年の教師が協働して学年全体の児童を指導するようにする。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自然や文化に感動する心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一部教科分担制を導入し、児童を多面的に捉え、学年の教師が協働して学年全体の児童を指導するようにする。</li> <li>○どの教科の学習においても、自分の考えを表現する活動を充実させる。相手意識をもって活動することができるようにする。お互いに説明し合ったり、知識を共有したりすることを通して思考力や表現力の向上を図る。</li> </ul>	
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆感じたことを言葉にする力</li> <li>◆事実をおおまかにことらえる力</li> <li>◆最後まで取り組む力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○五感を使った様々な体験をする中で出来事や感じたことを伝え合う経験を重ね、次の活動への意欲を高める。</li> <li>○伝えるために必要な言葉や態度を身に付ける。</li> <li>○見通しをもって取り組めるよう支援しながら、最後まであきらめずに取り組む経験を重ねる。</li> </ul>	

